

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レーベン土呂町2丁目 新築	階数	地上10F
建設地	さいたま市北区土呂町二丁目21番3	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	81 人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,400 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2019年10月 0.0	評価の実施日	2018年3月30日
敷地面積	970 m ²	作成者	山田建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	331 m ²	確認日	2018年3月30日
延床面積	2,204 m ²	確認者	平林 大典



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地内における建築面積を極力小さくし、簡潔な形状とした。	その他 建物の照明は全てLED照明とした。またガラスは「複層ガラス」を採用した。
Q1 室内環境	サッシ等級をT-2にする等環境に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内における建築面積を極力小さくし、可能な限り空地率を大きくした。
LR1 エネルギー	断熱性能を等級3とした。	LR3 敷地外環境 0
	Q2 サービス性能 維持管理に配慮するよう基準以上の設計とした。	
	LR2 資源・マテリアル 節水型の設備機器を使用する事とした。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される